

演 習 1

総合的な学習の時間のねらいの実現のためのカリキュラムの改善 1

全体計画を中心としたカリキュラムのよい点や課題について協議する

【14:30～14:35】

演習内容説明、指導・助言者紹介

【14:35～15:05】(30分)

グループ別協議①：実践事例・全体計画紹介、協議する実践事例・全体計画の選定

グループごとに、全員が順番に、準備資料を基にして、一人5分間程度ずつ実践事例・全体計画を紹介し合う。

それを受けて、協議②の対象とする実践事例・全体計画を一つ選定する。

【15:05～15:55】(50分)

グループ別協議②：全体計画を中心としたカリキュラムのよい点や課題の協議

4回の演習を通して、総合的な学習の時間のねらいの実現のため、カリキュラムをどのように改善すればよいかについて協議を行う。

第1回目の演習では、まず、全体計画を中心としたカリキュラムのよい点や課題を出し合う。具体的には、グループごとに協議①で選定した一つの実践事例・全体計画について、全体計画を中心としたカリキュラムのよい点や課題を出し合う。

【15:55～16:25】

指導・助言

文部科学省初等中等教育局教育課程課	教科調査官	田村 学 先生
愛知教育大学	生活科教育講座 助教授	中野 真志 先生

【16:25～16:30】

諸連絡

演 習 2

総合的な学習の時間のねらいの実現のためのカリキュラムの改善2

全体計画を中心としたカリキュラムの課題を基にして、課題を解決するための改善の方策について協議する

【13:00～13:05】

演習内容説明、指導・助言者紹介

【13:05～13:45】(40分)

グループ別協議①：全体計画を中心としたカリキュラムの課題の発表、協議②の方法の選択

グループごとに、全員が順番に、準備資料を基にして、一人5分間程度ずつ全体計画を中心としたカリキュラムの課題を発表し合う。

それを受けて、協議②の方法を下記のア・イから選択する。

ア 全体計画を中心としたカリキュラムを一つ選定して、そのカリキュラムの課題を解決するための改善の方策について協議を行う。

イ 改善の方策についての協議をする課題をいくつか選定して、その課題を解決するための改善の方策について協議を行う。

【13:45～15:00】(75分)

グループ別協議②：全体計画を中心としたカリキュラムの課題を解決するための改善の方策についての協議

第2回目の演習では、第1回の演習を受けて、全体計画を中心としたカリキュラムの課題を解決するための改善の方策について協議を行う。具体的には、グループごとに協議①で選択した方法で、全体計画を中心としたカリキュラムの課題を解決するための改善の方策について協議を行う（協議内容を模造紙にまとめる）。

【15:15～16:05】(50分)

発 表：グループ別協議の内容発表及び協議

各グループの協議②の内容について、各部会二つに分かれて、1グループ10分間程度ずつ発表する。

それを受けて、質疑応答、協議を行う。

【16:05～16:25】

指導・助言

〔小学校部会〕愛知教育大学 生活科教育講座 教授 布谷 光俊 先生

〔中学校部会〕愛知教育大学 生活科教育講座 助教授 中野 真志 先生

【16:25～16:30】

諸連絡

演 習 3

総合的な学習の時間のねらいの実現のためのカリキュラムの改善 3

全体計画を中心としたカリキュラムを実際に運用していく際の留意点（組織・支援体制、校内研修、外部との連携、行政のサポート等）について協議する

【13:00～13:05】

演習内容説明、指導・助言者紹介

【13:05～13:45】（40分）

グループ別協議①：全体計画を中心としたカリキュラムの課題を解決するための改善の方策の発表、協議する全体計画を中心としたカリキュラムの選定

グループごとに、全員が順番に、準備資料を基にして一人5分間程度ずつ全体計画を中心としたカリキュラムの課題を解決するための改善の方策について発表し合う。

それを受けて、協議②の対象とする全体計画を中心としたカリキュラムを一つ選定する。

【13:45～14:45】（60分）

グループ別協議②：全体計画を中心としたカリキュラムを実際に運用していく際の留意点についての協議

第2回の演習により、全体計画を中心としたカリキュラムについて改善がなされた。しかし、実際にこのカリキュラムが機能するかどうかは運用にかかっている。

そこで、第3回目の演習では、カリキュラムを実際に運用していく際の留意点（組織・支援体制、校内研修、外部との連携、行政のサポート等）について協議を行う。具体的には、グループごとに協議①で選定した一つのカリキュラムについて、学校で運用していく際の留意点について協議を行う（協議内容を模造紙にまとめる）。

【14:45～15:00】休憩

【15:00～16:00】（60分）

発 表（ポスターセッション）：グループ別協議の内容発表及び協議

各グループの協議②の内容について、ポスターセッションを行う。各グループ2名ずつ三つの発表グループを決め、1発表グループが1回6分間の発表（4、5分間程度）・質疑応答を3回行い、次の発表グループに交代する。三つの発表グループが3回ずつ発表・質疑応答を行う（計9回）ので、発表を聞く立場のときに、六つのグループの発表を聞く。

【16:00～16:20】

指導・助言

【16:20～16:25】

諸連絡

演 習 4

総合的な学習の時間のねらいの実現のためのカリキュラムの改善 4

次年度に向けて作成した総合的な学習の全体計画案について協議する

【13:00～13:05】(5分)

演習内容説明、指導・助言者紹介

【13:05～14:15】(70分)

グループ別協議：次年度に向けて作成した総合的な学習の時間の全体計画案についての協議

グループごとに、全員が順番に、準備資料（次年度に向けて作成した総合的な学習の時間の全体計画案）について、改善した点や運用していく際の留意点などを中心に、一人8分間程度ずつ発表し、3分間程度ずつ協議を行う。

【14:15～14:30】(15分) 休憩

演 習 5

総合的な学習の時間のねらいの実現のためのカリキュラムの改善 5

次年度に向けて作成した総合的な学習の全体計画案を基にして、異校種の学校と連携したカリキュラムについて協議する

【14:30～15:30】(60分)

協 議：異校種の学校と連携したカリキュラムについての協議

二人1組（小学校と中学校、小学校と盲・聾・養護学校、中学校と盲・聾・養護学校の組み合わせ。）で、お互いの全体計画案を基にして、これまでの実践も踏まえて、異校種の学校と連携したカリキュラムについて協議する。

【15:30～15:40】(10分)

発 表：異校種の学校と連携したカリキュラムについての発表

異校種の学校と連携したカリキュラムについて、指導・助言者の先生に選んでいただいた1事例を取り上げて、協議の様子やカリキュラムの内容を発表していただく。

【15:40～16:00】(20分)

指導・助言

〔小学校部会A～Dグループ、中学校部会D～Gグループ〕

中野 真志 先生

〔小学校部会E～Hグループ、中学校部会A～Cグループ〕

久野 弘幸 先生

【16:00～16:10】(10分)

アンケート記入